第５講 【系統地理編】地球環境問題
PART４ 地球環境問題の解決に向けて

Chapter１ 地球環境問題の解決に向けて

目標
地球環境問題における，「国境がない」という言葉の意味を考えよう。
「持続可能な社会」の実現に向けた，具体的な目標を知ろう。

1 国境のない地球環境問題

・**産業革命**以降，人間の豊かさを追求する環境を顧みない**開発**により，さまざまな**地球環境問題**が引き起こされた。
→**地球温暖化**，**大気汚染**，**砂漠化**の進行，**森林破壊**，**水質汚濁**，**海洋汚染**など。
・地球環境問題は，発生すれば**大気**や**海洋**を経て国境を越え，発生源の地域とは**異なる場所**に影響を与えることがある。
→**西ヨーロッパ**での石炭消費に伴う**硫黄酸化物**の排出により，〔　　　　　　〕の風下に位置する**北ヨーロッパ**で〔　　　　　　〕の被害が拡大。
・ある場所で発生している地球環境問題は，**貿易構造**を紐解けば，**他国**が間接的に原因をつくっている場合もある。
→東南アジアの〔　　　　　　　　　　〕林伐採は，輸出用のエビの養殖のため。先進国の経済活動が発展途上国の環境に影響を及ぼしている場合も。
→その背景には，〔　　　　　　　〕をはじめとする先進国・発展途上国間の**経済格差**がある。

酸性雨被害

マングローブ林の破壊

2　持続可能な社会の実現に向けて

・1962年に『沈黙の春』が出版されて以降，地球環境問題解決への機運が高まり，国際的な取り組みが行われている。

・国際機関以外にも，〔　　　　　　〕（**非政府組織**）や〔　　　　　　〕（**非営利組織**）による活動が盛んに行われている。

1972年	・**国連人間環境会議**（ストックホルム） →「**かけがえのない地球(Only One Earth)**」が標語 →「**人間環境宣言**」の採択，その後「国連環境計画（UNEP）」の設立へ
1992年	・国連環境開発会議（**地球サミット**）（リオデジャネイロ） →「〔　　　　　　　　　　　　〕（Sustainable Development）」を理念に，「**気候変動枠組条約**」や「**生物多様性条約**」などを採択 →具体的な行動計画である「**アジェンダ21**」の採択
2002年	・**持続可能な開発に関する世界首脳会議**（ヨハネスブルク）
2012年	・**国連持続可能な開発会議**（リオデジャネイロ）
2015年	・**国連持続可能な開発サミット** →2030年までに達成したい目標として，「**持続可能な開発目標**（〔　　　　　　〕，Sustainable Development Goals）」を掲げる。全ての国が取り組むべき17の目標（ゴール）を設定。

SDGs

https://www.un.org/sustainabledevelopment/　The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States

まとめ

地球環境問題の原因も結果も，世界中の国・地域が相互に影響を及ぼし合っているということ。
「気候変動に具体的な対策を」や「海の豊かさを守ろう」など。

Chapter 2　日本の環境問題

目標
高度経済成長期の日本で，公害が発生した背景を知ろう。
脱炭素社会の実現に向けて，私たちが日常生活の中でできることは何だろう。

1　日本の環境問題

1. 公害から環境問題へ

・20 世紀以降，**先進国**では大量生産・大量消費が進んだことで環境への負荷が大きくなり，人体に影響を及ぼす〔　　　　〕が発生した。

・日本では，1955 年以降の**高度経済成長期**に〔　　　　　　　　　　〕や光化学スモッグなどの問題が顕在化した。

・現代では，**大気汚染**や海洋の〔　　　　　　　　　　　　　〕などの**環境問題**が大きな課題となっている。2011 年に起こった**東北地方太平洋沖地震**に伴う**福島第一原子力発電所**の事故では，大量の〔　　　　　　　　　　〕を放出し，広範囲の地域・水域の環境に大きな被害を与えた。

＜日本の四大公害病＞

四大公害病の名称（年代）	発生地域	原因	症状
水俣病（1953年頃）	熊本県水俣湾	有機水銀	感覚障害，言語障害
新潟水俣病（1965年頃）	新潟県阿賀野川流域	有機水銀	感覚障害，言語障害
四日市ぜんそく（1960年代）	三重県四日市市	亜硫酸ガス	呼吸器疾患
イタイイタイ病（1910～70年代）	富山県神通川流域	カドミウム	全身の痛み，骨折

2. 法制や行政による取り組み

・1967 年　**公害対策基本法**制定。公害防止設備の設置の義務化など，環境基準が厳格化された。この法令により公害発生件数は減少した。

・1971 年　**環境庁**が設置される。

・1993 年　**環境基本法**が制定され，公害対策基本法は廃止となった。

・2001 年　環境庁が廃止され，〔　　　　　　〕が設置された。

2　環境問題への日本の取り組み

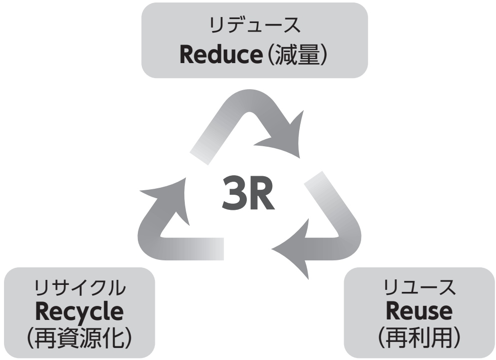
・日本は環境技術の先進国。「〔　　　　　　〕**社会**」を掲げ，エネルギーを効率良く使用する技術の開発が進められている。

・**カーボンニュートラル**：〔　　　　　　　　〕をはじめとする温室効果ガスの**排出量**と，森林などによる**吸収量**を均衡させること。日本は 2050 年までの達成を目指すと宣言した。

→〔　　　　　　〕：**リデュース**(減量)，**リユース**(再利用)，〔　　　　　　　　〕（再資源化）を行うこと。

→〔　　　　　　　　　　〕：ICT を用いて電力の需要量と供給量のバランスを調整し，効率的に送電するしくみ。

→**化石燃料**の使用率の少ない〔　　　　　　　　　　〕や，**電気自動車**の開発・普及。



3R の模式図

電気自動車

まとめ
環境への意識が低く，大気汚染や水質汚濁などが進行した。
リサイクル品の購入や，すぐに廃棄せず再利用を検討することなど。

第５講　PART４　確認問題

1 地球環境問題について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 地球環境問題は，より豊かな生活を追求する人間活動に起因する。
② 地球環境問題は，国境を越えて発生源と異なる国や地域に影響を及ぼす。
③ 地球環境問題の背景には，経済格差が存在する。
④ 地球環境問題の要因は地域に根差すことが多く，地域外の国には関係しない。

2 1992年の「国連環境開発会議」（地球サミット）で提唱された理念は何か。

① 持続可能な開発　② かけがえのない地球
③ 宇宙船地球号　④ 共通だが差異ある責任

3 1992年の「国連環境開発会議」（地球サミット）で採択された具体的な行動計画を何というか。

① 国連環境計画　② アジェンダ21
③ ミレニアム開発目標　④ リオ＋10

4 SDGsを説明したものとして，**正しくないもの**を選べ。

① 全17の目標が設定されている。
② 2030年までに達成したい目標が掲げられている。
③ 取り組みは先進国が中心となって行う。
④ 2015年「国連持続可能な開発サミット」で採択された。

5 日本において公害が顕在化したのはいつか。

① 高度経済成長期　② 第二次世界大戦中
③ バブル崩壊後　④ オイルショック後

6 日本の四大公害病に**あてはまらないもの**はどれか。

① 水俣病　② 四日市ぜんそく
③ イタイイタイ病　④ 天然痘

7 1967年に制定された，環境基準の厳格化を規定した法律は何か。

① 環境基本法　② 公害対策基本法
③ 家電リサイクル法　④ 循環型社会形成推進基本法

8 ３Rに**あてはまらないもの**はどれか。

① リペア　② リサイクル
③ リユース　④ リデュース

第 5 講　PART 4　確認問題　解答

1 解答：④　地球環境問題は，ある地域で起こった問題の要因が**他地域にある**場合もあることから，グローバルな視点での対策が必要である。

2 解答：①　1992 年の地球サミットでは「**持続可能な開発**（Sustainable Development)」が理念とされ，これに基づいて「気候変動枠組条約」「生物多様性条約」などが採択された。

3 解答：②　1992 年の地球サミットでは，環境保全に関する具体的な行動計画として「**アジェンダ 21**」が採択された。

4 解答：③　「**持続可能な開発目標**（**SDGs**)」では，**全ての国**が取り組むべき 17 の目標（ゴール）が設定されている。

5 解答：①　日本では，1955 年以降の**高度経済成長期**に四大公害病や光化学スモッグなどの課題が顕在化した。急速な工業化に対し，環境への意識が低かった。

6 解答：④　四大公害病は，熊本県水俣湾の**水俣病**，三重県四日市市の**四日市ぜんそく**，富山県神通川流域の**イタイイタイ病**，新潟県阿賀野川流域の**新潟水俣病**である。

7 解答：②　1967 年に**公害対策基本法**が制定され，公害防止設備の設置の義務化など，環境基準が厳格化された。

8 解答：①　環境問題への対策活動である 3 R とは，**リデュース**（減量）と**リユース**（再利用），**リサイクル**（再資源化）である。